



イノチオ防除チラシ  
2026年1月号

# キュウリ

inochio  
GROUP

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## アザミウマ類と天敵について

### アザミウマ類

体長約1~2mm。細長く、小さいため見つけにくい。スリップスとも呼ばれる。新芽、新葉、花などを吸汁し、**葉の萎縮や奇形、花の褐変**を生じる。吸汁痕はカスリ状になり、銀色に見えることから、**シルバリング**と呼ばれる。キュウリの場合、**黄化えそ病**が**ミナミキイロアザミウマ**によって媒介される。



### スワルスキーカブリダニ



提供：アリスライフサイエンス(株)

- ▶ アザミウマ類・コナジラミ類・チャノホコリダニ・ミカンハダニを同時に防除することができる
- ▶ 比較的高温条件でも生存・定着できる
- ▶ 成虫の体長(雌)：0.3mm、乳白～淡黄色

捕食対象害虫	アザミウマ類 1齢幼虫	コナジラミ類 卵	コナジラミ類 1齢幼虫	ミカンハダニ
捕食数/日	5~6頭	10~15卵	最大15頭	5.6頭(23℃)



本年もどうぞよろしくお願いいたします！

## 天敵導入されている方向け

IRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	スワルスキー 影響日数
—	コナジラミ類・アザミウマ類 チャノホコリダニ	【天敵】スワルスキー または スワルスキープラスUM 250～500ml/10a または 100～200パック/10a(約25,000～50,000頭) 発生直前～発生初期 野菜類(施設栽培)登録						
農薬散布は天敵放飼後7～10日間空ける								
27, 40	べと病	ベトファイター顆粒水和剤	○	○	2,000～3,000倍	前日	3回	—
28	アブラムシ類・コナジラミ類・ウリノメイガ アザミウマ類・ハモグリバエ類・ウリハムシ	ベネビアOD※	—	—	2,000倍	前日	3回	0日
11	うどんこ病・褐斑病・菌核病 炭疽病・灰色かび病・べと病	アミスター20フロアブル	○	○	1,500～2,000倍 (菌核病・灰色かび病:1,500倍 褐斑病・炭疽病:2,000倍)	前日	4回	0日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	—	—	1,000～2,000倍 (アブラムシ類:2,000倍)	前日	2回	0日

※きゅうりに使用する場合は、TPNを含む農薬との混用は葉害を生じるおそれがあるので、混用はしないでください。

## 天敵未導入の方向け

IRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	スワルスキー 影響日数
2	菌核病・つる枯病・灰色かび病	ロブラール水和剤	○	—	1,000~1,500倍 (菌核病・つる枯病:1,000倍)	前日	4回	7日
4A	アブラムシ類・ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類・カビハネコバエ類	ベストガード水溶剤	—	—	1,000~2,000倍	前日	3回	0日
17	菌核病・灰色かび病	ピクシオDF	○	○	2,000倍	前日	4回	0日
5	コナジラミ類・アザミウマ類 ハモグリバエ類・ウリノメイガ	ディアナSC	—	—	2,500~5,000倍 (コナジラミ類:2,500倍)	前日	2回	14日↑
7	うどんこ病・褐斑病・菌核病 つる枯病・灰色かび病	ケンジャフロアブル	○	○	1,000~1,500倍 (うどんこ病・褐斑病・つる枯病:1,500倍)	前日	4回	0日
6	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック	—	—	500~1,000倍	前日	2回	7日

## 海藻サンバ

イノチオの新しいバイオステュミラント！  
育苗期の発根促進剤

- ▶ コリンによる**光合成促進**と**発根促進**
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進

育苗期・生育期:1,000倍



肥料登録番号  
生第101491号

## おすすめ資材

## ピュア酸素

- ☆ 土壌に酸素を供給し、根の活動を活発に！
- ☆ 肥料・葉面散布剤の吸収を良くします！

5~10kg/10a  
7~10日おき灌水処理

酸欠を防ぎ  
根の動きを促す！

